慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 新収資料一覧 (その四) |
| Sub Title | A list of early books newly housed in Shido bunko (part4) |
| Author | 堀川, 貴司(Horikawa, Takashi) |
| Publisher | 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 |
| Publication year | 2020 |
| Jtitle | 斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.55 (2020. ) ,p.397- 413 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Departmental Bulletin Paper |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20200000-0397 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 新収資料一覧（その四）

堀川　貴司　編

前輯掲載「新収資料一覧（その三）」以後に整理した古典籍（一部複製本等を含む）の一覧である。

記述事項は前三回と同じく、書名、作成地（和漢韓洋）の別および判型、請求番号、編著者、成立年時、刊写の別および刊写者、特徴的な事項、蔵書印・書入等である。請求番号は三段から成る。上段が日本十進分類法新訂6―A版に基づき独自の改編を加えたもの、ただし、配架の都合上貴重書・特殊形態本に独自の番号を与えている。すなわち、091が貴重書、092が箱入り等特殊形態の貴重書、B1が準貴重書、B2が特殊形態の準貴重書、D2が小本の一般書、D4が箱入り等特殊形態の一般書である。中段が同一分類内での通し番号（古典籍の場合番号の前に「ト」を付す）、下段が員数を表す。

今回は前文庫長佐藤道生氏より板木等の寄贈があった。

○　総記

## 仁王經〔抄出板木〕

闕名者製　　弘安四年（一二八一）七月刊　　和大　　092 ト185 1

三一行一五字、表裏あり。初行「仁王經〈不空／譯〉下巻曰」。以下、仁王護國般若波羅蜜多經巻下奉持品第七の一部（大正蔵08・0843b21-0844a14）を抄出する。陀羅尼部分梵字表記。刊語「弘安四年〈辛／巳〉七月十九日爲令道俗經營／速却異國灾難所開印板也／沙門□□」（板木欠損のため「經營」難読）。端食存。全体の試し刷り一枚、部分の試し刷り四枚を付す。箱蓋裏に無記名解説貼付。虫損多し。＊佐藤道生氏寄贈

## 〔表無表色章板木〕

勝弘製　　正応五年（一二九二）刊（〔唐招提寺〕）　　和大　　092 ト184 1

三〇行一八字、表裏あり。大正蔵45・309c14-310b20。表右端（版面の外）に「十五板　勝弘」と陰刻。端食欠。唐招提寺版（『大乘法苑義林章』巻三所収章の抽印）。箱蓋表「春日版々木　壱枚」裏「南都興福寺藏（焼印「興福寺」）」と墨書。虫損あり。＊佐藤道生氏寄贈

## 〔大般若波羅密多經板木〕

永重製　　暦応五年（＝康永元年、一三四二）五月刊（〔興福寺〕）　　和大　　092 ト188 1

三四行一七字、表裏あり。巻二百七十九（大正蔵06・0415b12-416a23）。表左端（版面の外）「三百内　八帙九巻　三板　永重」裏左端（版面の外）「暦應五年五月日」と陰刻。端食欠。摩滅・虫損甚だし。大屋徳城『寧楽刊経史』に刊記著録あり。＊佐藤道生氏寄贈

## 成唯識論〔板木〕

闕名者製　〔南北朝〕刊（〔興福寺〕）　和大　092 ト186 1

三一行一七字、片面のみ。巻九冒頭部分（大正蔵31・0047c29-0048a29）。右端（版面の外）に「唯識論　九巻　一」と陰刻。端食欠。版面痛みあり。＊佐藤道生氏寄贈

## 〔大般若波羅密多經板木〕

闕名者製　〔室町〕刊（〔興福寺〕）　和大　092 ト187 1

三三行一七字、表裏あり。巻三百五十五（大正蔵06・828b09-829a16）。表左端（版面の外）に「四百内　六帙　五巻　五枚」と陰刻。端食欠。版面保存良。＊佐藤道生氏寄贈

## 〔百人一首歌仙絵板木〕

闕名者製　〔江戸後期〕刊　和大　B2 ト13 1

第三三丁（相模・行尊）・第五〇丁（後鳥羽院・順徳院）の表裏二丁分。半葉に和歌一首・歌仙絵・略伝・出典を収め、上欄に源氏香（第三三丁）・十二ヶ月花鳥和歌（第五〇丁）を半葉二図ずつ配置。入木痕あり（入木そのものは欠）。端食欠。＊佐藤道生氏寄贈

## 小學書合纂〔板木〕

闕名者製　〔安政四年（一八五七）〕刊（考槃荘）　和大　B2 ト15 1

昌谷精渓編、巻二第二九・三〇丁の表裏二丁分。版心に「考槃荘□板」とあり。端食片方欠、下部虫損甚だし。＊佐藤道生氏寄贈

〔校刻〕日本外史〔板木〕　和半　B2 ト12 1

闕名者製　〔明治〕刊

旧川越藩版巻十五第一七丁の一丁分のみ（裏に当て木あり）。弘化・元治版ではなく、明治期各版のいずれか。端食なし。＊佐藤道生氏寄贈

鉢木〔板木〕　和半　B2 ト14 1

闕名者製　〔江戸後期または明治〕刊

版心「鉢木　十七（十八）」表裏二丁分。冒頭と末尾は「見渡せば今度の……梅田（ウメダ）。越中に」。正徳六年山本長兵衛版と版組が一致するので、その系統たる天保一一年版や明治以降の檜版のいずれかであろう。フリガナ・濁点・句点あり。端食に墨書「鉢ノ木　十七八」あり。＊佐藤道生氏寄贈

列女傳〔板木〕　唐大　B2 ト16 2

〔清〕闕名者製　〔清〕刊

十六巻本の目録第六丁（巻九至十一）および巻五第二〇丁の二枚（片面のみ使用）。四周単辺有界一〇行二二字、挿絵半丁。目録丁は鉄製鋏および木製分銅型鋏で上下に割れた板木をつないでいる。また、本文丁より一格分縦が短い。＊佐藤道生氏寄贈

〔列女傳板木〕　唐半　B2 ト17 1

〔清〕闕名者製　〔清〕刊

巻数不明。巻一第二五丁の一枚（片面のみ使用）。四周単辺有界一〇行二〇字、写刻体。挿絵半丁。＊佐藤道生

氏寄贈

## 古文淵鑒〔板木〕

〔清〕闕名者製　〔清〕刊　唐半　B2 ト18 1

版心「古文淵鑒正集四十〈唐第十六衞〉七」「(同)〈戰鑰〉八」の表裏二丁分。四周単辺無界九行二〇字、句点あり。＊陳正宏氏旧蔵、佐藤道生氏寄贈

## 思亭集〔板木〕

〔朝鮮〕闕名者製　〔一九一六〕年刊　韓大　B2 ト19 1

崔基大の文集（四巻）の序第七・八丁の表裏二丁分。左右双辺有界五行一二字。端食両方に墨書「思亭集序七八丈」とあり。＊佐藤道生氏寄贈

## 室生寺本日本現在書目録攷

中根肅治撰　〔明治〕写（自筆）　和半　B1 ト261 1

朱墨訂正書入ある稿本。外題「〈室生寺本〉日本現在書目録攷　初稿」（録字補入）。印記：中根

## 三家宋板書目録

〔明〕李如一〔清〕徐乾学・錢曾撰　周小英・范景中批校　二〇一九年六月刊（杭州：中国美術学院出版社）　唐特大　026 ト47 1

影印黄丕烈鈔本。浄琉璃室批校本叢刊の内。

## 山堂肆考〔五集二四〇巻〕

〔明彭大翼〕編　〔明〕刊〔清〕修（石渠閣）　032 ト25 3

存角集巻三十四至三十八、徵集巻十七至二十・二十五至二十九　唐半

補刻丁下象鼻に「石渠／閣補」とあり。角集巻三十八末一丁欠。表紙朝鮮製、「共五十」と墨書。第二冊に印文不明黒陽長方印あり。表紙裏張反古文書に康熙一三年（一六七四）三月の年記あり。

## 一　哲学

### 狂愚子九巻

〔沢辺〕東谷（皐谷）撰　祐之評　〔江戸中期〕写（一筆）　和大　B1 ト260 2

安永八年（一七七九）十一月自序。頭評冒頭に著者略伝を記す。本文・評同筆、あるいは全体が祐之筆か。學術第八・本末に荻生徂徠批判あり。

### 六秘論

塩谷宕陰撰　〔幕末明治〕写（逸見〔魯斎〕（三省））　和半　121 ト207 1

紙縒綴。末尾「逸見三省手寫」とあり。三省は安井息軒門。

### （御纂）周易折中二二巻首一巻

清李光地等奉勅撰　〔江戸後期〕写（一筆）　和大　123.1 ト63 21

欽定四経のうち。加賀國學蔵版本の稿本（ただし注文の一部省略あり）で、四周双辺有界八行墨刷罫紙（半分ほどは版心に「御纂周易折中　巻　甘節齋藏」とあり）を使用。第一冊見返「旨奉頒行／欽定周易折中／〈尊經閣／藏板〉」とあり。甘節齋は大田晴軒の別号か。各冊表紙右下墨書「第六函（入）」または「六」。第一冊表紙右上貼紙朱印「引合」、その両脇墨書「十之年／七月」。

毛詩正義一七巻附杏雨書屋蔵毛詩正義単疏本解題　和特大　123.3 ト39 18

武田科学振興財団杏雨書屋編　吉川忠夫解題　二〇一一至一三年刊（大阪：武田科学振興財団）

同所蔵〔南宋〕刊本の複製および別冊解題。　＊刊行者寄贈

周禮六巻（題簽題「周禮白文」）　和大　123.4 ト44 6

大江周哲点〔林羅山〕（道春）校　寛永九年（一六三二）一一月跋刊

印記：白石氏／圖書記／勿折紙／勿汚墨、根本／氏藏

左傳杜解補正三巻　和大　123.6 ト40 3

清顧炎武撰　那波〔魯堂〕（與藏）校　明和四年（一七六七）三月刊後印（〔京〕：楠見甚左衛門・風月莊左衛門・林權兵衛）

刊記、楠見甚左衛門は入木、林權兵衛に朱印あり。虫損多し。印記：學問所（楷書・篆書各一）、思齊館／臧書印、揖東揖西宍粟／佐用赤穂五郡／共有物之印、龍埜中／學（？）黌臧／書之印

孟子仰鑽餘滴不分巻（外題）　和半　123.8 ト290 3

安井息軒撰　〔明治一七年（一八八四）〕九月写（河村如雲）

本文共紙表紙紙縒綴。第二冊表紙「維年甲申季秋於東都寓舍寫焉」第三冊表紙「息軒安井先生採擇／隈山谷先生筆録」「河村如雲亦録」とあり。安井文庫 09B/2-10/3『孟子集註』（明和三年印本）の書入を谷干城が移写したものの転写本。同本は巻三・四下部の欠損のため書入の一部が失われているのを、当該本で補える。ただし、同本には明治六年の追加書入がある（巻四・二四ウ、巻七・一五ウ）が、その部分は当該本にはない。印記：一跬

千里

## 老子道〔徳〕經二巻

旧題漢河上公注　〔室町末〕写（一筆）　和大　092 ト182 1

巻首題「老子道經□」「老子經下」。四周単辺有界（墨書）一〇行二一字前後、注小字双行、墨返点・送仮名・竪点、朱合点（章題上のみ）・朱引（序のみ）。全裏打補修。識語：元和五年〈己／未〉□雨十六蕓此（？）抄□仰仁海令附与之了法印竪者□海叟（虫損のため不明文字あり）、印記：賓／南（二種）、残花書屋、寶玲文庫、小林／蔵書、金合／文庫、月明荘

## 老子全解五巻

大田〔晴軒〕（敦）撰　伊藤〔鹿里〕（忠岱）等校　〔天保一三年（一八四二）〕刊　和大　126 ト69 5

序跋刊記等なし。第二冊以下前遊紙あり。極初刷か。巻三途中より末尾まで撰者の友人「鞭後子」の評点あり。印記：竹洲藏／書之記

## 七書　孫子三巻・呉子二巻・司馬法三巻・尉繚子五巻・黄石公三略三巻・六韜六巻・唐太宗李衛公問對三巻

釈閑室元佶校　闕名者点　〔江戸初期〕刊　和大　128 ト36 7

覆古活字版（伏見版異版か）。印記：高長（黒陽小判型双辺）、三井家鑒藏、高安後／人大正／壬戌以／後所集、雙籠鑒臧、爲學／日益、大正／十三年／所得

## 黄石公三略三巻　六韜六巻

和大　092 ト179 3

〔室町〕写（寄合書）

列帖装、藍雲紙表紙（押八双あり）。箱内紙片に「兵庫縣播磨加東郡来住村／赤松鶴治所藏」、また三略に赤松円心筆の旨記す識語あり（貼紙）。識語：則家（花押）（三略表紙貼紙）、景■（花押）（三略見返貼紙）赤松二郎（次郎）源親次（印「赤松／親次」）（六韜各冊末）

大般若波羅蜜多經六〇〇巻存巻四十二　和半　091 ト433 1

応永一八年（一四一一）六月刊（白山金剱太神宮）

折本。超胤刊語あり。黄染料紙。識語：金剱宮（巻首上欄）、印記：月明／莊

観音経和談抄三巻（序題）　和大　183 ト21 1

闕名者撰　天和三年（一六八三）三月刊（江戸：うろこかたや）

各巻首目録あり。同版元寛文一〇年刊本との関係未考。

科註父母恩重經　和大　183 ト18 1

釈亮汰注　寛文六年（一六六六）跋刊

本文割注および上層科文あり。墨語注、朱批点・朱引あり。識語：叟山主、壱冊ノ物／境山秘書

父母恩重經鈔二巻　和大　183 ト19 2

釈亮汰注　延宝三年（一六七五）一一月刊（〔京〕：中野小左衛門）

寛文六年刊本の増補改訂版。墨語注、朱引あり。識語：浄音坊、印記：字曰／靈空、澄全（？）

父母恩重經鈔二巻（題簽題「〈首書〉父母恩重経鈔」）　和大　183 ト20 2

釈亮汰注　闕名者補注　　貞享二年（一六八五）四月刊（京：中村五兵衛）

延宝三年刊本に頭書を加えたもの。墨語注、朱引あり。印記：雲晴

## 二　歴史

### 古器考（奥書）　　和大　210ト16 1

賀茂真淵撰　〔江戸後期〕写（一筆）

自筆稿本の転写本か。墨訂正補足、朱指示（貼紙）書入あり。印記：静幽／文庫、江澤氏蔵

### 日本武城舊記（目録題）　　和横小　D2ト159 1

闕名者編　元禄六年（一六九三）正月刊（大坂：野村長兵衛、京：野間長右衛門、寺田与平次）

外題「〈日本〉武城舊記」、巻首「古今諸大名所附〈并國替知行高〉」。各国の石高および領主を戦国から江戸初期にかけて記す。刊記、野村長兵衛が入木の可能性あり。

## 三　社会科学

### 古戰評判三巻　　和半　399ト8 3

中川正尚撰　元禄三年（一六九〇）正月刊（〔江戸〕山口屋原權兵衛）

各巻冒頭に合戦図（手彩色）あり。序・巻首題の「評判」入木、版心・巻尾題の「評判」に当たる部分空白。識語：克己堂藏、印記：幸、横山／藏書

## 七　芸術

集古名公畫式五巻（目録題）　和特小　D2 ト158 5

高橋草坪撰　村田香谷・村山〔半牧〕（荷汀）補校　明治一六年（一八八三）一月出版御届、大正四年（一九一五）一〇月印（東京：同伸館武田傳右衛門）

銅版。原帙入。印文不明印記あり。＊阿部脩二氏寄贈

〔新撰朗詠集抄出〕　和半　D4 ト78 3

〔藤原基俊〕原編　闕名者編　〔江戸後期〕写（〔勝見尚友〕）

画帖仕立、箱蓋に「青蓮院宮御用／勝見右膳先生真蹟／新撰朗詠集／一題一首／全部三帖」と墨書。右膳は名、尚友。第一帖春・夏、第二帖・夏（蛍より）・秋・冬、第三帖・雑。＊佐藤道生氏寄贈

## 八　言語

韻鏡（尾題「指微韻鑑」）　和大　821 ト21 1

闕名者撰　（首）宋張麟之撰　〔江戸初期〕刊

覆古活字版。白文、清原宣賢跋なし、各表末行の字のみ音訓を付刻。印記：島田／藏書、三澤

## 九　文学

〔詠歌一体〕（外題「〈為家卿〉和歌相傳鈔」）　和半（枡形）　911 ト220 1

〔藤原〕為家撰　〔江戸前期〕写（一筆）

冷泉家本系統。「參議兼侍従藤原為秀」本奥書あり。久曾神昇旧蔵。識語：寶生院守玄所藏也／（印「法■／之印」「釋／守玄」）

愚秘抄〔二〕巻存鵜上〔有欠〕　和大　911 ト222 1

伝藤原定家撰　〔近世初〕写（一筆）

群書類従本に近いが、末尾に五句を辺序題曲流とし詩の題目破題譬喩述懐に擬する説を載せる。全丁裏打補修。

印記：久曾神／藏書

爲満郷和歌講談（ためみつのきやうわかこうだん）二巻（愚問賢注）　和半　911 ト223 1

伝〔冷泉〕爲満撰（〔二条良基・頓阿〕撰）　元禄五年（一六九二）正月刊（大坂：深江屋太郎兵衛）

愚問賢注と同内容、ただし序は漢文表記。本末二巻。末巻最終張版心に「京　時斉筆」とあり。二冊合一冊。日本歌学大系底本か。印記：久曾神／藏書

和歌手習二巻（外題「和歌の手習」）　和半　911 ト219 2

闕名者撰　寛文四年（一六六四）八月刊（京：ゑさうしや喜左衛門）

三部鈔（箱書）（詠謌之大槩御鈔・小倉山荘色紙倭謌御鈔・未来記雨中吟御鈔（外題））　和大　092 ト181 3

後陽成院撰　万治元年（一六五八）一一月写（〔飛鳥井雅章〕）

本奥書（詠）「〈官本云〉這鈔雖愚鈍集善説述之叵耐々々矣／慶長十二暦閏仲呂廿又三貫／従神武百餘代孫周仁」（小）

「〈官本云〉寡人以管窺聚諸抄書之後世之嘲有恥々々／慶長十一稔澶（凜ノ誤写カ）秋下澣／従神武百餘代孫周仁」（未）「〈官本云〉此未来記〈幷〉雨中吟抄者以遠情抄為根本以師説加詞者也愚鈍誤等睿智妙達之人可有改正者也／従神武百餘代孫周仁／慶長十二稔端月十八日」。書写奥書は三冊とも万治元年一一月、後西天皇の命により書写、清書を献上し下書を家蔵としたとの内容。印記：月明荘（詠）、幸（小、箱題簽）（吉田幸一）

## 歌林良材集二巻

一条〔兼良〕撰　〔江戸初期〕刊　慶安四年（一六五一）八月印（京：秋田屋平左衛門）　和大　911 ト224 1

無刊記無辺本（弘前図）の覆刻無刊記有辺本（祐徳稲荷）に寛永二〇年刊記を入木した本の同版後印か。二冊合一冊。印記：下総／貝須賀／香取郡、下総香取／湖輪田／貝須賀住、久曾神／藏書

## 古今和歌集聞書（蓮心院殿古今集註）

〔飛鳥井雅親〕撰　〔室町中期〕写（伝武田元信・今川氏親）　和特大　092 ト183 2

本文全文あり、注文カナ交じり、巻三以降は行間小字にて記す。冒頭「長享三三十二日ニ始ル」とあるが、末尾の年記および歌数書上なし。ただし貞応二年七月奥書あり。後人の貼紙によれば、序・巻一・二・十一至末尾が武田元信、巻三至十が今川氏親筆とのことで、筆跡はその如く二筆。元信は真筆か、氏親は不明。上冊（巻十まで）は斐紙、下冊は楮紙。朱合点・句点・ルビ・濁点・朱引あり。識語：春嶺蔵書（箱蓋表）

## 堀川院後度百首（外題）（永久百首）

源顕仲等詠　〔江戸後期〕写（一筆）　和大　911 ト226 1

延宝四年刊本の写しか。目録題「百首和歌〈永久四年十一月廿日〉」印記：梅、久曾神／藏書

十代集抄出附堀川院百首抄出　堀川院後百首抄出　和大

〔宗祇〕編注　〔江戸初期〕写（一筆）　B1 ト259 1

第一類本（欠脱なし）、奥書なし。久曾神昇旧蔵。自筆メモ挿入。

新古今和歌集聞書四巻　和大

東常縁撰　〔細川幽斎〕（玄旨）補〔江戸前期〕刊　911 ト225 2

分巻は版心による。外題「新古今和哥集抄」。四冊合二冊。久曾神昇旧蔵。印記：三河國八名郡／田中新墾田／松坂藏書印、松坂／五百枝

藏玉和謌集〈草木異名幷月之名〉　和半

伝二条良基撰　延宝九年（＝天和元年、一六八一）五月刊（〔京〕：山田六左衛門）　911 ト218 1

元禄一四年刊本は本刊本の覆刻。印記：芝山蔵書

百人一首聞書　和半

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）　092 ト180 1

列帖装、外題「百人一首抄」。宗養・紹巴および（明示していないが）三条西家説を多く引き、宗祇説は少ない。朱句点・合点・声点・濁点・朱引あり。〔古筆了仲（十三代）〕正筆書、見返貼付、昭和三年（一九二八）古筆了任箱書とも烏丸光広筆とするが、やや下るか。

蜜現秘藏抄二巻　和半

闕名者編注　元禄一二年（一六九九）九月写（一筆）　B1 ト262 1

秘蔵抄の異本。巻上はほぼ一致、巻下は異なるが、体裁は上と同じなので、こちらが原態の可能性もあるか。書写奥書「右秘蔵抄上下之巻以中川重興所藏于櫃底本令書寫最可謂奇特之寶鑑歟不意可閲於此書萬代之真寶可賞可仰也／元禄十二年九月十五日　書写畢」。久曾神昇旧蔵。印記：菊二印

拾花集一〇巻　和大　911 ト221 1

闕名者撰　〔江戸前期〕写（一筆）

日本歌学大系別巻八所収志香須賀文庫本。印記：閑雅文庫、小林氏／臧書、久曾神／藏書

伊勢物語聞書（肖聞抄）　和中　091 ト434 1

〔肖柏〕撰　慶長一二年（一六〇七）四月写（昨夢）

料紙黄染楮打紙雲母引、朱句点・合点・朱引等あり。文明十二年本。片桐洋一『伊勢物語の研究〔資料編〕』の翻刻底本（当時片桐架蔵本）。識語：昭和十七年九月／戸川濱男（印「賓／南」）、印記：残花書屋、賓／南

うつほ物語（外題）三巻　和半　913 ト104 3

闕名者撰　万治三年（一六六〇）八月刊（京：林和泉掾）

内題なし。丁付三冊通し。挿絵あり。「俊蔭」のみ。表紙浅葱色刷栗文。印記：茂松園／臧書、松／坡、水野／士獻、城西／松房、久曾神／藏書

〔源氏物語〕五四巻欠夢浮橋　和大　091 ト430 53

〔紫式部〕撰　〔室町末近世初〕写（一筆）

原薄茶色雷文繋蓮華唐草文艶出表紙（押八双あり）、題簽中央、一一行二七字前後、濁点・振仮名・異文注記わ

ずかにあり、引歌の箇所に朱墨合点あるいは歌本文行間注記あり。冒頭に「凡五十四帖の巻の名に四の心あり……」「一此物語作年記仁王六十六代……」の小文を掲げオイコミで本文あり。青表紙本系統。虫損多し。

〔源氏物語梗概〕　和大　913 ト103 1

闕名者撰　〔江戸中期〕写（一筆）

内題なし。外題後補素紙表紙に「源氏物語　全」と打付書。伊井春樹『源氏物語注釈書・享受史事典』によれば神宮文庫本『源氏抜書』冒頭と本書冒頭がほぼ一致する。印記：■■■／臧書記、■■／之印（ともに右半摺消）

文心雕龍一〇巻　和大　920 ト11 2

梁劉勰撰　岡〔田〕龍洲校点　享保一六年（一七三一）一〇月刊（大坂：文海堂敦賀屋九兵衛、同治兵衛）

見返薄墨刷、魁星印・版元印「敦賀屋／文海堂」あり。印記：義（黒円陰刻）

唐人試帖四巻　唐七律選四巻　唐大　921 ト324 4

清毛奇齡論定　王錫等編　〔清〕刊（〔南京〕三多齋藏板）

（人）に康熙四一年、（七）に康熙四〇年の毛序あり。封面朱印「江右三多齋校訂古今書籍經史時文於江南省狀元境書坊發兌」

王荊公詩五〇巻附首目補遺（題簽題「王半山詩箋注」）　和大　921 ト326 8

宋王安石撰　李壁注　清張宗松校　天保七年（一八三六）刊（〔昌平坂学問所〕）

官板。覆清刊本。朱句点・朱引・批点あり。印記：本田／柯虎

唐詩通解七巻　和半　921 ト325 3

皆川淇園撰　皆川〔篁斎〕（允）等校　寛政五年（一七九三）七月刊（丹陽藩源府蔵板）

蔵版者は丹波亀山藩か（序者中島雪楼および篁斎が同藩藩儒）。語注等を記した紙片多数貼付。また「〈日本無類／位山名木〉一位御枝折　〈飛州高山府〉松濤齋」と刷られた三つ折紙片あり。